



十月の幼稚園

十月の保育

幼稚園……堀合文子
 保育所……鈴木とく

堀合文子

主 題	<p>○運動会</p> <p>皆と共に集団行動をする自覚と協力をや せなう スポーツ精神という事も年少ながら一応はし らせたい 皆のしているのをみるという興味と態度をや しなう 十月に入つて練習するのではなく、もう九月か らゆうぎ等は練習しているのであるから前か ら楽しみにしている。いろ／＼話合つてその 日の来るのを楽しみにしたり約束したりする</p>	<p>○運動会</p> <p>大体年少組と同じ 年長組になれば競技精神も高揚して来るから その点こちかも正しく導く必要がある。いたず らに競走心をおこさせぬように負けた時は相 手の勝をよるこぶとの美しい精神をやしな いたい。</p> <p>○八百や</p> <p>近くの八百やを見学にい 野菜果物の名前をあげたりして話合い、仕事</p>
	年 少 組	年 長 組

お
話

○動物園

皆と一緒に動物園を見学にゆかれ、ばよいが動物の名をあげたり、話合つて興味をおこさせこんなものをつくるう等と相談してつくる動物の絵等飾つて環境をととのえるのもよい

○うさ吉のお母さんの病氣

○柿の實のすきなお猿さん

○象さんのギツコンバツタン

○森のお友達

○石のうす、

○紙芝居

別に題材をのせないから園にある適當のものを選び二、三回繰として入れておく

○人形芝居（さるとかに）

の分担もあらかじめきめておいてもよい。秋の野菜果物をしらせ、共同製作の興味と協力をやしなう。

○熊と子供達

○いたずら兎

○ふしぎな金の鈴

○黒のお客様

○お話合（うんどろかい）

運動会が近くなつたら運動会について種々と皆の考えをきいたり皆と約束すべき事を話合つて、その時の話座により手技で用意するもの（例えば応えんの旗等）は作つたりして年長組ではスポーツに対する興味や心がけをしらせたい。

○紙芝居（三つ）

○人形芝居（舌切雀）

○無花果

よく植えてある家庭があるから葉の形、実の形つき方、熟すると食べられる等観察する。八つ手の葉と比較させてみるのもおもしろい

○栗

出来ればいがの中に入つたものをみせたいが中味だけでも子供達が食べたりにしてしたしんがいているものであるから、まわりの堅い皮、しぶ皮等よくみせたい。

○どんぐり

木のあるところへ皆で拾いにいって、おはじきにしたり、ごまにしたり人形さんをつくつたりして遊ぶ。遊んでいる中に帽子の事だの種々の形がある等をしらせる

○菊

かおりたかい菊の花、花びらの沢山ある事等年少ではあつさりと観察させておく。

○芋掘り

芋掘りが実際出来ればよいが土の中のお芋の様子、つるにつながつている

○野菜

主題の八百やさんの誘導としても八百やさんに皆でお野菜、秋の果物をみにいったりして野菜の種類名前等話合つてこの季節には特に野菜果物の豊富な事を話しておく。

○赤とんぼ

秋の半ばになると赤とんぼがとび出す。体の美しい色、他のとんぼとちがう所などよく観察させる

○栗

年少組の時の要領と同じだが年長組ではいがの中の栗、木にづいた栗等写生にとり入れ、観察と共に美しい秋の感觸も味あわせたい

○どんぐり

どんぐり拾いにいって、種類等観察すると同時に、並べて数えたり、並べて模様をついたり種々と工夫して遊ばせる。

○菊

部屋の花を写生したり、大輪だの小菊だのある事をしらせ葉の形だの他の花とちがう点も

<p>絵 畫 製 作</p>	<p>音 樂 リ ズ ム</p>	
<p>○動物づくり 主題の動物園の動物をつくる。</p>	<p>○運動会（運動会のために） ○日の丸（ ） ○きら／＼星（ ） ○お芋掘り（リズム遊び） くわをかついで入物をもつてお芋を掘りにい く。掘る所、掘つたのを持って帰る等生活を リズムに併せて、動作を自由にさせてみる ○まっぼづくり（唱遊）</p>	<p>有様など経験しながら観察させたいものであ る 園の畑にうえてある時は一緒に芋掘りして楽 しみ後で少しでもふかして食べたりすると一 更楽しみもふえる</p>
<p>○運動会の旗づくり 赤と白の応えんの旗をつくる</p>	<p>○運動会 ○日の丸 ○きら／＼星 ○お芋掘り（リズム遊び） 年少組と同じだがこちらの自由表現の要求は 年少よりもつと以上のものを希望する ○どんぐりころ／＼（唱遊） 唱も遊戯もあるがそれを教えると共に、自由 にどんぐりにならせるのもおもしろい。 木からどんぐりが落ちてくる。 ころ／＼ころがりどんぐりがあそぶ、そこへ 子供がひろっていく。という風にリズム遊び にしてもおもしろく遊べる。</p>	<p>比較させる 皇室の御紋章という事も一言しらせる ○芋掘り 年少組の要領と同じ</p>

年少だから、画用紙でつくつたり箱で簡単に
つくる程度でよい。

なるべく種類は手本のようにその動物を印
刷したりしてやつてもよいが後は自分達の工
夫した動物がおもしろい。なるべく仕事を分
担して一種類が沢山出来てしまわぬように各
自始めの相談の時に決めて作るのがよい。
一度に沢山つくらなくてよいがゆつくりと興
味を持続させつゝつくらせる。

○動物の象や柵をつくる

動物が出来たら動物の象や柵をつくるが、こ
れも細い仕事になりがちであるからこの年少
児に出来る範囲の簡単なもの。柵はあら目に
するのだとその点むずかしくならぬように特
に注意が必要である。

○動物園の切符づくり

動物園を公開するのに切符をつくる

動物の模様をつけたりした子供らしいものが
よい。

○お絵かき(自由に)

○えのぐのお絵かき(自由)

紙と棒とを与えて自由につくらせる
部屋の装飾として万国旗式のものをつくつて
もよい。

万国の旗をみせてかゝせてもよいがいろく
子供らしいお花の絵があつてもかえつてよい
のではないでしようか

○八百やさんの野菜、果物づくり

つくるものを相談して、又年長だからどうし
てつくつたらという事も一応相談してみ
中味を紙屑やパツキングを入れてふくらみを
もたせ、外側にそれ／＼野菜、果物の皮をか
くつてはりつければよい。

なるべく立体的なものがのぞましいから一つ
だけ一緒につくればあとは子供に色々考え、
工夫させて作らせる方がよい。

出来れば実物の御手本をみてつくらせるのが
よい。

○八百やさんのねだん書

これも相談していくらかきめて、すみでねだ
んをかゝせる。

○八百やさんのお店のかざり

のれんとか、看板も共同の製作としてつくる

<p>よき習慣</p>	<p>健康の習慣</p>	
<p>○運動会の時のように皆と一緒に行動する時はきびんに行動し人に迷惑にならぬようにする</p> <p>○共同のものは大切にす</p>	<p>○十月の身長体重測定</p> <p>○朝晩涼しくなるからあつくなつたらさむくなつたらと自分で調節するように</p> <p>○なるべくこのよい気候に戸外で遊ぶように</p>	<p>○十月のお絵かき (毎月一度かいた絵をとつておく)</p>
<p>○大体年少組と同じ</p> <p>○友達に親切にしけんか等せぬようにする</p> <p>○食事の時、途中で用たしにゆかぬように、はじめにうつておく</p>	<p>○十月の身長体重測定</p> <p>○朝晩の衣服の調節(年少組と同じ)</p> <p>○戸外でよく遊ぶ</p>	<p>○お絵かき自由に</p> <p>○えのぐのお絵かき(自由)</p> <p>○お絵かき(運動会の絵)</p> <p>運動会をおえてその時の様子をかゝせてみる</p> <p>○写生</p> <p>どんぐり、きくの花</p> <p>○模様かき、どんぐりをならべて模様をかく。</p> <p>はじめ実物を紙の上に並べてみていろく形を考えそれからかゝせる方がよい。</p>

行事	○口にもものを入れたまゝ話さない
○運動会 ○十月のお誕生会	○年少に同じ

十月は気候もよい。夏休みの家庭生活のくずれも取れてこれから十一月にかけて、一番よい時期である。しかし同時に行事も種々であるから、その機その機を利用して、よき習慣をつける事が大切である。九月の案にも記した様に、これはカリキュラムでなく、先生

十月の 保育所

実りと収穫の時、十月は 自然礼讃と健康増進の月とされるのが日本のしきたりの様です。農家は、何かと取りいれに忙しく、都会人は、秋の自然を満喫して、体を鍛えようと蒼穹を仰ぎ、熱れた木の実を賞玩します。

幼児の生活も亦、之等周囲の環境に、興味を覚えて、都会地では遠足、運動会の喜びを待ち、農山村地域は、栗拾い、茸狩等、野山をわがものと駆けまはる事でしょう。

保育所全体の計画は、きつと、遠足や運動会の事で、きつしりと

としての予定案に過ぎぬのであるから、その環境や子供の状態において適当に変化するようずう性が必要である。出来上つたカリキュラムとしてははるかに不足があるのでその点混同せぬ様に、御参考になれば幸です。

鈴 木 と く

立案されること、思います。

保育所での幼児の生活も、そろそろ実の入る頃です。生活年令も半年過ぎ、集団生活の場も、自分の処としての安定感も得られ、何か、自主的に行動したい気分が、自ら出て来る時期とも思はれます。

楽しく、野山に遊び、遠足をし、運動会をする事が、自然社会の観察となり、共同の目的にむかつて 力をあはせ、奉仕する事で、喜びを感じながら、社会的な生活習慣を養う、よいチャンスであると思えます。